

# 就職試験 ジャーナル

第45巻 第1号  
2023年8月17日発行

特集

## 就職指導年間計画立案のポイント

日本経済は新型コロナウイルスによる社会経済活動への制限が緩和され、正常化が進んでいるが、物価の上昇や円安の進行といった要因により、依然として先行き不透明な状況が続いている。今後の予測は難しいが、どのような時代であっても、自分の価値や可能性を発見して自己実現に向けて行動していく力を養いたい。

今回は、職業観の育成から試験対策まで、就職指導を展開するための計画立案のポイントを、年次別にまとめてみる。

### 就職指導の重要なテーマ

就職指導の成果とは、生徒が自分の将来の目標を持ったうえでそれに向かって進むための就職を実現できるか、という点にある。

そのためには、①「何のために就職するのか（働く目的）」をわかったうえで、②「自分は何をしたいのか、どんな仕事に向いているのか」を明らかにし、③「自分がやりたい仕事、自分に合っているような職業には、具体的にどのようなものがあるのか」を探し出すという手順を踏むことが大切である。

#### ①職業観・勤労観の育成

働く目的は、人それぞれの考え方があり、好きな仕事をする、自分が人生の目的となっている人もいれば、研究をするため、よい生活をするため、生きるため、または家族を養うための生活手段として働くという人もいるだろう。

どのような就職であっても、「自分の職業に誇りを持つこと」「自分の能力をよりよく活かす、また向上させる仕事であること」をテーマに、前向きな職業観・勤労観の育成指導を進めたい。

#### ②自己理解

多くの人が、長い期間を職業人として生活していく。よって、自分に合った職業を選ぶことが最重要であることは言うまでもない。そのためには、できるだけ早い段階から、自分の性格、得意・不得意分野、興味、適性などを具体的に考えさせていく指導が不可欠となる。

また、「適性がない」と思っている、学習や訓練をすることで新たな特性や能力が開花することもある。自分を伸ばせるかという可能性も含めて、個性や適性を考えさせるように指導することも重要となる。1・2年次の早い段階で自己理解を促し、卒業後の人生をどう生きていきたいのか、具体的にイメージさせたい。

#### ③職業を知る

身近な商品を作っている企業、CMでよく見る企業以外にも、世の中にはさまざまな職業・企業がある。多くの選択肢の中から自分に合ったものを選ぶためには、職業や企業について、できる限り事前に調べ、理解しておくことが大切である。

まずは、過去の「求人票」を情報源として活用したい。たとえば、全体のガイダンスとして「求人票」の見方について説明した後、生徒各自に「求人票」を見る際の注意ポイントをまとめたものを配布しておく、自主的な企業研究の際に役立つ。企業の基本的な情報が記載されているので、生徒が興味を持った業界や職種について情報収集を行えるよう、自由に閲覧できる設備を整えておくとよい。また、最新の状況をチェックするために、多くの企業が自社のサイトを開設しているので、それらを利用することもあわせて指導する。

しかし、「求人票」や企業案内だけでは、企業の雰囲気や実態まで知るのには難しいため、職場見

資料●就職指導年間計画例

★印のスケジュールは変更の可能性あり

2年	5月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	進路希望調査 三者面談	進路ガイダンス	夏期補習 インターンシップ		進路ガイダンス	進路希望調査 個人面談					進路ガイダンス 進路希望調査	個人面談 求人票の見方指導	履歴書作成練習 模擬面接	★求人票公開 (7/15)	就職説明会 三者面談 職場見学	校内選考 夏期補習 模擬面接	★選考・内定開始 (9/16) ★応募書類提出 (9/5)
	進路適性検査 オススメ教材				就職模擬試験	作文添削 就職模擬試験		SPⅠ基礎テスト			就職模擬試験	作文添削 就職模擬試験	職業適性検査 就職模擬試験 SPI対策テスト		就職模擬試験 SPI対策テスト		

学やインターンシップを実施したい。職場見学やインターンシップについては、地域によって状況が異なるが、1・2年次に行く学校が多い。自分の目で見て体験することが、企業理解に最も効果的な方法である。

## 2年次での指導

### ●各種進路行事の開催

#### ① LHR での進路学習

LHR、総合的な探求の時間などを使い、自己理解の深化、職業観の育成、進路の選択・決定に向けての進路学習を行う。『進路ノート』や『キャリアノート』などの副教材（いずれも実務教育出版発行）は、生徒が主体的に作業をしながら授業を展開できるので、学習効果が高い。

#### ② 進路希望調査

初めの進路希望調査は、早い時期（なるべく1学期中）に行いたい。就職希望者には業種・職種レベルまで希望進路先を意識させた調査にする。

#### ③ 心理検査

客観的な自己理解・生徒理解の方法の一つとして、心理検査の実施がある。特に、進路指導では、生徒の性格、興味、能力を分析し、大学学部系、専門学校系、職業などへの適性を判定する進路適性検査を有効活用したい。1年次前半、2年次前半に実施する学校が多い。

進路適性検査には、進学・就職希望者両方に対

応したのや就職希望者向けの職業適性検査、進学希望者に的を絞った学部・学科適性検査がある。いずれの検査も、生徒が自己理解を深め、進路を考えるきっかけ・学習への動機づけとして効果がある。

#### ④ 体験学習

家族や親戚、卒業生への職業インタビューや、地域のボランティア、インターンシップなどさまざまなものがあるが、生徒が取り組みやすく消化しやすい初歩的なところから、段階的に体験学習のメニューを組立てておくとよい。さまざまな体験を通して自分の能力や適性に気づき、自己理解を深めることができる。

### ●面談

#### ① 個人面談（進路相談）

進路に関する個人面談は、生徒の自己理解の深化、問題の把握と解決に向けて、各学年で最低1回は生徒全員に対して行いたい。

2年次では、1・2学期の始めに、進路希望調査、学業に関する資料、適性検査などの判定結果、学校生活に関する記録、過去の進路相談記録などを参考にし、進路について話し合う機会を持つとよいだろう。

#### ② 三者面談

保護者を交えた三者面談は、進路希望調査や進路適性検査の結果をもとに行う。落ち着いて進路について話し合う機会を持つためにも、早い時期から定期的に行うことが大切である。

## ●採用試験対策

### ①基礎学力の充実

学科試験・SPIなど、採用試験突破のためだけでなく、入社後の業務においても国語・数学・一般常識などの基礎学力は必須である。「簡単な漢字を書けない」「有名な地名なのに知らない」「簡単な計算ができない」といった嘆きが採用企業から聞こえてくることもある。1・2年次の早い段階で、学力不足の生徒に対し基礎教科の学び直しを促すことが大切である。

基礎学力は、模擬試験・テストの実施を核に、問題集などによる繰り返し学習が効果的である。

### ②自己理解にも有効な作文指導

「書く」ことによって、今まで見えなかったものが見えてきたり、考えを深めるきっかけとなったりするので、作文対策は自己理解にも非常に有効である。「書く」機会を多く与え、練習を重ねることで文章力も向上するため、早期からの継続的な作文指導を充実させたい。

## 3年次での指導

## ●各種進路行事の開催

### ①進路ガイダンス

就職の心構えや採用試験の内容、選考開始までの具体的なスケジュールなどについて理解を深めさせる。あわせて、卒業生や外部講師を迎えて進路講演会を実施すると効果的である。

### ②進路希望調査の実施

進路希望調査は4月の早い時期に実施し、志望する業界や職種の確認と、採用試験に向けての準備計画を検討させたい。

### ③夏休みを利用した体験学習

「百聞は一見にしかず」という言葉があるように、直に職場の雰囲気に触れることで、そこで働く自分をイメージしやすくなる。志望する企業を実際に訪問し見学させる機会があれば、ぜひ利用したい。ただし、このような職場見学については、事前選考につながるおそれがあり禁止しているケースもあるので、注意してほしい。

そのほか、自分の興味のある企業で働く先輩を訪ねるのもよい。昼休みや業務終了の時間などで、細かい話をしてもらおうとよいだらう。先輩の好意で仕事現場を垣間見せてくれれば収穫である。その際にも、先輩から聞いた内容について報告書を

まとめ、提出させるように指導したい。また、企業案内を直接取りに行かせるだけでも、企業の雰囲気やわかり社会人と接するよい機会になる。

## ●面談

### ①個人面談（進路相談）

進路に関する個人面談は、進路希望調査、学業に関する資料、適性検査などの結果、学校生活に関する記録、過去の進路相談記録などを参考にし、希望進路について具体的に話し合う。なお、必要に応じて再相談の予定を立てたり、後から連絡を取ったりなど、適切なフォローが必要である。

### ②三者面談

最終的な進路決定にかかわる三者面談は、生徒の希望と保護者の希望に食い違いが生じ、こじれるケースも見られる。このようなことを防ぐためにも、できるだけ早い時期に面談を実施し共通理解が得られるよう、落ち着いた話し合いの場を持つよう配慮したい。

## ●応募手続に関する指導

### ①求人票の見方

「求人票」の情報は、具体的な志望企業を選択するうえで最も重要なものである。生徒が自主的に情報収集を行えるよう、自由に閲覧できる設備を整えておきたい。また、仕事内容や就業場所、労働条件などの重要事項を企業ごとにまとめたメモを作成させることをお勧めする。その際、どの事項に注目しているかを生徒に意識させながら作成させると、企業を比較検討する場合に役立つ。

「求人票」の記載事項については、うっかり見落としたことで後々トラブルになることもあるので、十分な指導が望まれる。

### ②履歴書・志望動機の書き方

履歴書や応募書類の書き方指導も欠かせない。基本的な書き方を理解し、丁寧にしっかりとした文字で書けるように指導する。特に志望動機については、履歴書の中で最も注目されるところである。面接対策としても重要なので、これまでの体験や自己分析の内容、職業調べ、職場見学などから、生徒本人の個性が出るような志望動機を考えさせるようにしたい。

## ●採用試験対策

採用試験の内容は、企業によってさまざまだが、

学科試験、適性検査、作文試験、面接試験、健康診断と大きく5つに分類される。多くの企業では、これらのいくつかを組み合わせて実施しているが、面接試験はほぼ100%実施されている。

### ①筆記試験対策

筆記試験には、国語、数学などの学科試験や、「職業適性検査」「クレペリン検査」「SPI」などの適性検査がある。早い段階から、模擬試験や問題集に取り組み、必要な基礎力、実戦力を計画的に養うことが重要となる。

### ②作文試験対策

「志望動機」「アピールポイント」「高校生活で

力を入れたこと」「社会人としての心構え」など、作文試験でよく出されるテーマをひと通り書かせるだけでなく、随時添削指導をして、読む人の立場に立ったわかりやすい文章を書かせるようにしたい。

### ③面接試験対策

面接試験対策は、模擬面接を繰り返し行って、雰囲気慣れさせることが重要である。事前に、よく質問される項目を整理して質問カードにまとめ、生徒に配布しておくとうい。

なお、各採用試験の具体的な対策については、3号以降で紹介する予定である。



今号の  
イチオシ教材

ライフプラン作成や自己理解、就職活動に役立つ教材をご紹介します。  
一連の就職指導がより充実したものになります。

## これでバッチリ！ ガイダンス+ SPI・一般常識

体裁●B5判・144ページ  
別冊●「正答と解説」B5判・32ページ  
「確認テスト」(1回40分・3回分)  
定価●850円(税込)

「就活」の準備から筆記試験対策、  
内定後指導まで、この1冊でOK

《ガイダンス編》では、求人票の見方から採用試験の攻略法、内定後の過ごし方までを、図やイラストを用いて丁寧に解説。《筆記試験対策編》では、豊富に収録された練習問題により、短期間で試験のツボを押さえることができます。

## 進路適性検査 わくわく

対象●高1～高3  
実施時間●学校時間1時間  
(配布・回収、説明などの時間を含む)  
受検料●1,000円(採点料・税込)

就職・進学問わず実施でき、  
初めて進路を考えるとときに最適な適性検査

「基礎的・汎用的能力」の4領域を反映した判定結果は、生徒の進路意識の啓発・向上に役立ちます。また、受検者全員に進呈する「わくわくブック」により、判定結果と職業や学問の理解を深めることができます。

## 高校生のキャリアノート

体裁●各テーマA4判・8～16ページ [全25テーマ]  
定価●各テーマ190円(税込)

### ⑬自己実現のための ライフプラン

1テーマ50分程度で学習できるテーマ別分冊のワーク教材  
モデル家族のライフプランを作成する中で、自分が人生の中で大切にしていることに気づくことができ、生徒自身のライフプランを築くためのサポートとなるテーマです。

ご検用実物見本を無料進呈！ご請求は Web から▼ 実務教育出版 教育教材事業部  
[www.jitsumu-kyouzai.com/highschool/](http://www.jitsumu-kyouzai.com/highschool/) 教材NAVI 高校  FAX/03-3354-5098 TEL/03-3355-1801

「就職試験ジャーナル」  
バックナンバーについて

本年と前年の『就職試験ジャーナル』のバックナンバーは、小社サイト「教材NAVI」でご覧いただけます。  
高等学校のTOPページより、「活用情報(モデルプラン・指導情報など)」→「指導情報」をご覧ください。



ナ  
バ  
ン  
バ  
ク  
ー  
◀